

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-46	中学校	数学科	数学	第2学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	数学 804	中学数学 2		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法第二条に示す教育の目標及び学習指導要領の目標を達成するために、以下の方針に基づいて編修しました。

楽しさやよさを実感しながら、学力を確実に身に付ける

- 数学の楽しさやよさ、実社会とのつながりなどが感じられる教材や話題を豊富に掲載し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしています。
- 説明する活動や論証の学習を充実させて、真理を求める態度を養えるようにしています。
- 生徒が主体的に学習できるページを数多く設け、個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養えるようにしています。
- 他者の考えを聞いたり自分の考えを説明したりする場面を設け、豊かな情操と道徳心を培うとともに、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしています。
- 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して学習を進めることで、数学的な思考力・判断力・表現力等を養うとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できるようにしています。
- 既習内容をふり返ったり、生徒に多く見られるつまずきを取り上げたりして、基礎的・基本的な知識・技能が身に付くようにしています。
- 伝統や文化に関わる話題を掲載し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養えるようにしています。
- 身のまわりにある場面や地球規模の環境に関わる課題を取り上げ、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしています。

具体的には、以下の内容を通して達成することを旨としました。

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通じた資質・能力の育成

◆知識・技能の習得

数学の基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるために、章の入口にはその章に関連する既習内容を確認する問題を、出口にはその章で学習した基礎的・基本的な内容がまとまったページを設けています。また、本文においては、既習内容をふり返ったり、生徒に多く見られるつまずきを取り上げたり、巻末には、前学年までの既習内容をふり返るページや、基礎・基本の定着を図るための問題ページを設けています。

1 式の計算

学習する前に

1 文字を使った式 1年 ▶ 学びのマップ p.222

次の数量を、文字を使った式で表してみましょう。

- 100円の消しゴム x 個の代金
- 縦が a cm、横が 2 cm、高さが h cm の直方体の体積
- 秒速 1 m で x 秒間歩いてから、秒速 3 m で y 秒間走ったときの道のり

文字を使った式の表し方

- 積は、記号 \times をはぶき、数を文字の前に書く。
 $x \times 3 = 3x$
- 商は、記号 \div は使わずに、分数の形で書く。
 $a \div 4 = \frac{a}{4}$

章の学習に入る前に、既習内容の確認ができます。
▲p.12など

2章 学習のまとめ

この章で学習した内容をふり返ってみましょう。

2元1次方程式とその解 ▶ p.46

2つの文字をふくむ1次方程式を2元1次方程式といい、方程式を成り立たせる2つの文字の値の組を、その2元1次方程式の解という。

連立方程式とその解 ▶ p.47

方程式を組にしたものを連立方程式という。また、2つの方程式を両方とも成り立たせる

代入法による解き方 ▶ p.52

$$\begin{cases} y=2x & \dots\dots ① \\ 3x-2y=-2 & \dots\dots ② \end{cases}$$

①を②に代入すると、
 $3x-2 \times 2x = -2$
 $x=2$

$x=2$ を①に代入すると、 $y=4$
答 $x=2, y=4$

章末では、章で学習した基礎的・基本的な内容をふり返ることができます。▲p.63など

学びのマップ

学習をふり返ったり、進めたりしよう。

1年で学習してきたこと

〈1年の学習〉

- 整数の性質
- 正の数、負の数
- 正の数、負の数の四則計算
- 文字の使用
- 文字を用いた式の計算
- 数量の関係を表す式
- 方程式とその解き方
- 方程式の活用

〈2年の学習〉

- 1章 式の計算
- 2章 連立方程式

巻末では、前学年までの既習内容をふり返ることができます。▲p.220

◆思考力・判断力・表現力等の育成

数学を活用して事象を論理的に考察する力、性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養うために、**学習したことを活用する課題**や、**多様な考え方ができる課題**、**自分の考え方を説明したり解決のしかたをみんなで話し合ったりする課題**などを設けています。

はるかさん、かずまさんの2人は、下の図のような補助線をひいて $\angle x$ の大きさを求めました。

2 2人がかいたそれぞれの図で、 $\angle x$ の大きさを求めてみましょう。また、2人の求め方を説明してみましょう。

友だちの考えを知ろう

どんな図形の性質を利用したのかな？

多様な考え方に触れる機会を設けています。▲p.118など

シュートをそれぞれ何本決めたのかな？

日本のプロバスケットボールのトップリーグである「Bリーグ」では、全国各地で試合が行われています。

このリーグの2016-17シーズンでの日本を定める試合で、リンク福永ブレックスに所属していた古川孝敏選手は、21点をあげ、チームの優勝に貢献しました。

21点も取ったんだ！古川選手は3点シュート、2点シュート、フリースローをそれぞれ何本決めたのかな？

バスケットボールには3点シュート、2点シュート、フリースロー(1点シュート)があるよ。

決めたフィールドゴールの数	9本
決めたフリースローの数	0本
合計得点	21点

※フィールドゴールとは、試合時間の進行中に放たれるシュートのことをいい、そのシュートには3点シュートと2点シュートがあります。

右上の表から、3点シュートと2点シュートをあわせて9本決めて、21点をあげたことがわかるね。

決めたフリースローの本数はわかっただけ、3点シュートと2点シュートはそれぞれ何本決めたのかな？

はるかさん、りくさん

古川選手は、3点シュートと2点シュートをそれぞれ何本決めたのでしょうか。

身のまわりや社会にある事象を数学的に捉える課題を設けています。▲p.44など

補充問題

1章 式の計算

1節 式の計算

1 単項式と多項式

1 次の式を単項式と多項式に分けなさい。また、多項式については、その項をいいなさい。

① $2x^2y$ ② $7a-4$ ③ $-8x$
 ④ $15a-2b+14$ ⑤ x^2+x-9
 ⑥ $4x-y+1$

6 次の計算をしなさい。

(1) $(2x+6y)-(x-2y)$
 (2) $(3a+9b)-(-7a+8b)$
 (3) $(a+4b-5)-(-b+2+4a)$
 (4) $(5x^2-8x-4)-(2x^2-3x-7)$
 (5) $\begin{array}{r} 3x+5y \\ -6x-2y \\ \hline \end{array}$
 (6) $\begin{array}{r} 2x+y-5 \\ -x-4y+7 \\ \hline \end{array}$

7 次の2つの式を加えなさい。また、左の式から右の式をひきなさい。

(4) $\begin{array}{r} 7x-3y-6 \\ -7x+2y-6 \\ \hline \end{array}$

基礎的・基本的な問題を反復練習することができます。▲p.244

2 A社、B社それぞれについて、 y は x の1次関数といえますか。その理由も説明してみましょう。

1次関数であることはどのように説明すればいいのかな？

みんなで話し合おう

課題を話し合っ解決する場面を設けています。▲p.95など

5 4で説明したことを読み直すと、「連続する3つの整数の和は、3の倍数になる」ことのほかに、次のこともいえます。下の□にあてはまる言葉をうめましょう。

「連続する3つの整数の和は□の3倍になる」

見方を変えると、ほかの性質を見つけることができるね。

深めよう

数学的な考え方
ほかにいえることはないか考える
真ん中の整数に着目する。

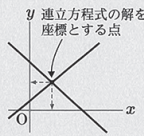
学習内容を活用して深めたり広げたりする課題を設けています。▲p.33など

◆学びに向かう力、人間性等の涵養

数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとする態度を養うために、**学習したことのよさを強調する場面や、数学が生活の中で生かされていることを実感できる課題、学習感想を書かせる場面**などを設けています。

連立方程式の解とグラフの交点

x, y についての連立方程式の解は、それぞれの方程式のグラフの交点の x 座標、 y 座標の組である。



連立方程式の解を座標とする点

方程式のグラフを使って、連立方程式の解を求めることができるんだね。

学習したことのよさをおさえることができます。▲p.90など

3章の学習を通して、

- わかったことやよかったこと
- 大切だと感じたことや気づいたこと
- さらに学習してみたいこと

などを、ノートに書いてみましょう。

りくさんのノートの例

- ・ 1次関数 $y=ax+b$ のグラフは直線になり、 a の値は直線の傾きぐあいを表し、 b の値はグラフと y 軸との交点の y 座標を表していることがわかった。
- ・ 身のまわりの問題で1次関数とみなせることがらがあり、目的に応じて、表、式、グラフを使い分けて解決するとうと思った。

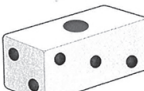
学習感想の書き方の例を示しています。▲p.97など

上記の記事以外に特に留意した点

◆言語活動

自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うため、**自分の考えを説明したり他者の考えを聞いたりする場面**を数多く設け、**数学的な表現力を育成するとともに、他者とのコミュニケーションを通して、自分の考えを広げたり深めたりすることができるように**しています。

問2 右のような直方体の形をしたさいころを投げるとき、
みんなに説明しよう 1から6までのどの目が出ることも同様に確からしいといえますか。
また、そのように考えた理由を説明しなさい。



1 ノートに図をかいて、 $\angle x$ の大きさをいろいろな方法で求めてみましょう。

∠xの大きさを求めるためには、ほかのどの角の大きさがわかればよいのかな？

どんな図形の性質が使えるかな？

どんな補助線をひけばよいのかな？

問題をつかもう

自分の考えをもとう

数学メモ
上の図のような一部がへこんだ四角形を、凹四角形ということがあります。

自分の考えを説明したり友だちの考えを聞いたりして、問題を解決する場面を設けています。▲p.118など

自分の考えを説明する問題を設けています。◀p.185など

◆生活や社会への利用

主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うため、**数学を生活や社会に利用する場面**を数多く掲載しています。これらの教材を扱うことで、**数学の実用性を知り、数学の楽しさやよさを実感できるように**しています。

りくさんは、今年、神社に初もうでしたとき、右の写真のような絵馬^{えうま}を見ました。
※ 願いごとを書いて、神社や寺に奉納する額

りくさん

「正五角形の形をしているね。」

「ほかにも正五角形の形をしたものが、身のまわりにないか探してみよう。」



数学と生活との関連を実感することができます。▲p.142など

数学の広場

プロフィール
輸送計画担当者
多々良 和孝さん
たたら・かずたか
新潟県出身。
大学では機械工学を学び、自動車の研究をしていた。乗り物に関係する仕事に就きたいと考え、鉄道会社に入社。運転士、車掌、列車の運行管理をする輸送指令などの業務を経て、現在は輸送計画の作成等を担当している。

数学は社会に生きています!



“さまざまな数学手法を便利に使っています!”

Q どのような仕事をされているのですか？

列車の輸送計画^{りくさん}に携わっています。列車の運転時刻を決めて、列車のダイヤを作る仕事

Q 数学はどのように役立っていますか？

時刻表を作成するとき、発車時刻など


数学と職業との関連を実感することができます。▲p.238など

◆個に応じた学習

個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うため、**学習したことをさらに深めたり広げたりする課題や、基礎・基本の定着を図る問題ページ**などを豊富に掲載し、生徒の実態に応じて取り組めるようにしています。

実力アップ問題

20 一の位が0でない3桁^{ひた}の自然数で、百の位の数と一の位の数を入れかえてできる自然数と、もとの自然数との差は、99の倍数になります。この理由を、文字を使って説明しなさい。

21 地球を球と考えて、赤道の周りに地球の表面から1m^{はな}離れたところに地球を1周するひもをかけます。


このとき、地球の半径を r mとすると、ひもの長さは赤道の周よりどれだけ長くなるかを求めなさい。ただし、円周率を π とします。

数学の広場 グラフの形はどれかな？ まがひリンク

右の図のような、底が階段状になっている水そうに、一定の割合で水を入れていきます。このとき、水を入れ始めてからの時間と水位の関係を表すグラフの形は、下の㉗～㉚のどれになるでしょうか。また、その理由も説明してみましょう。

㉗ 水位

㉘ 水位

㉙ 水位

㉚ 水位

㉛ 水位

㉜ 水位

学習したことを活用して、深める課題に取り組むことができます。▲p.93など

基本の問題

1 次の(1)～(3)にあてはまるものを、下の㉗～㉚の中からすべて選びなさい。

(1) 2元1次方程式 $x+5y=3$ の解
 (2) 2元1次方程式 $3x-4y=-10$ の解
 (3) 連立方程式 $\begin{cases} x+5y=3 \\ 3x-4y=-10 \end{cases}$ の解

連立方程式とその解
p.47 たしかめ1

既習内容をふり返って確認することができます。▲p.56など

既習内容を活用して、程度の高い問題に取り組むことができます。◀p.246など

2. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭 学習するにあたって	○数学の学習を進めるにあたって、数学的活動の楽しさや数学のよさに触れることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度や、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるように配慮しました(第1号, 第3号)。	p.6
1章 式の計算 章とびら	○人工衛星の打ち上げ場面を取り上げ、数学と生活との関連を重んずる態度を養えるように配慮しました(第2号)。	p.13
2 式の活用 工夫してノートを書く	○問題解決の過程において、他者の考えを聞いたり自分の考えを説明したりすることを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるように配慮しました(第3号)。 ○自分なりに工夫してノートをつくることを促し、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養えるように配慮しました(第2号)。	p.32 p.40
2章 連立方程式 2 連立方程式の活用	○問題解決の過程において、他者の考えを聞いたり自分の考えを説明したりすることを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるように配慮しました(第3号)。 ○空き缶のリサイクル活動をする場面を取り上げ、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました(第4号)。	p.59 p.61
3章 1次関数 Let's Try	○地域の夏祭りのボランティアスタッフに応募する場面を取り上げ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました(第3号)。	p.68
3 1次関数の活用 学んだことを活用しよう	○スロープの勾配に配慮したバリアフリーの事例を取り上げ、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるように配慮しました(第3号)。 ○電気自動車の購入にかかる経費を取り上げ、数学と生活との関連を重んずる態度を養えるように配慮しました(第2号)。	p.96 p.99

4章 平行と合同 Let's Try 2 合同と証明	○美術館で絵画を鑑賞する場面を取り上げ、数学と生活との関連を重んずる態度を養えるように配慮しました(第2号)。 ○証明の進め方について理解を図ることで、真理を求める態度を養えるように配慮しました(第1号)。 ○大昔から数学が測量に利用されてきたことなど、数学の普遍性が感じられる話題を紹介し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるように配慮しました(第1号)。	p.102 p.128 p.134
5章 三角形と四角形 Let's Try 2 四角形	○神社の絵馬の形を取り上げ、伝統と文化を尊重する態度を養えるように配慮しました(第5号)。 ○ミウラ折りについて紹介し、数学と生活との関連を重んずる態度を養えるように配慮しました(第2号)。	p.142 p.169
6章 確率 1 確率	○確率論の基礎を築いた数学者パスカルのエピソードを取り上げ、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるように配慮しました(第1号)。 ○スクラッチくじの出方を調べる場面を取り上げ、数学と生活との関連を重んずる態度を養えるように配慮しました(第2号)。	p.193 p.194
7章 データの分析 章とびら 1 データの散らばり レポートを書こう	○道路の安全対策に統計データが活用されている話題を紹介し、数学と生活との関連を重んずる態度を養えるように配慮しました(第2号)。 ○地球の温暖化に関心を持ち、気象データを調べる場面を取り上げ、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました(第4号)。 ○数学を活用して調べたことをレポートにまとめる活動を取り上げ、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養えるように配慮しました(第2号)。	p.201 p.212 p.216
巻末 数学の広場	○陸上競技のトラックをつくる方法を取り上げ、数学と生活との関連を重んずる態度を養えるように配慮しました(第2号)。 ○1次関数との関連から、列車のダイヤを作成する輸送計画担当者の仕事を取り上げ、職業及び生活との関連が実感できるように配慮しました(第2号)。	p.232 p.238

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○見やすく、わかりやすい紙面

学習内容の理解を深めることができるように、側注を設けて補足的な内容を扱ったり、文節で改行したりして、視覚的にも読みやすくわかりやすい紙面に配慮しています。

○カラーユニバーサルデザイン(CUD)や特別支援教育への対応

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字(ユニバーサルデザインフォント)などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

○地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負担軽減に配慮しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-46	中学校	数学科	数学	第2学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	数学 804	中学数学 2		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

基本的な構成と趣意

本教科書は、生徒が学習の主人公となるように、数学的活動を通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図りました。また、基礎・基本の確実な習得を図るとともに、学習したことを活用しながら数学的な思考力・判断力・表現力等を育て、さらには、数学を学習する楽しさやよさが感じられるように編修しました。

◆数学的活動を通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現

自らの疑問を大切に
「？」

●学習の過程で生ずる**生徒の疑問**を取り上げ、学習を進めていく中でそれを解決したり、また**新たな問い**を見いだしていくような「主体的な学び」が実現できるようにしています。

? 方程式に文字が2つあるときは、どのようにしたら答えを求めることができるのかな?

▲p.45など

連立方程式を解くためには、いつも文字に数を代入しなければならないのかな?

▲p.47など

問題発見・解決の
プロセスを意識づける
『学習のプロセスページ』

●『学習のプロセスページ』では、**問題発見・解決の数学的活動のプロセス**を例示しています。「自分の考えをもとう」「みんなで話し合おう」などのラベルをつけ、**自分の考えを説明したり、話し合ったり、ふり返ったりする活動**を通して、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるようにしています。

11 印刷枚数を枚数としたときの印刷料金をy円とするとき、A社とB社それぞれについて、xとyの関係をグラフに表してみましょう。

印刷枚数 (x)	A社印刷料金 (y)	B社印刷料金 (y)
0	0	0
100	2000	1500
200	4000	3000
300	6000	4500
400	8000	6000
500	10000	7500
600	12000	9000
700	14000	10500
800	16000	12000
900	18000	13500
1000	20000	15000

▲p.95など

◆知識・技能の習得

章の入口と出口で
取り組む
『○章を学習する前に』
『学習のまとめ』

●章の入口では、章の学習の準備として**問題形式で既習内容を確認する『○章を学習する前に』**を設けています。

●章の出口では、その章で学習した**基礎的・基本的内容を確認する「学習のまとめ」**を設けています。

式の計算 を学習する前に

1 文字を使った式 1年 ▶ 学びのマップ p.222 ⑧
次の数量を、文字を使った式で表してみましょう。
(1) 100円の消しゴムx個の代金

▲p.12など

2章 学習のまとめ

2元1次方程式とその解 ▶ p.46
2つの文字を含む1次方程式を2元1次方程式といい、方程式を成り立たせる2つの文字の値の組を、その2元1次方程式の解という。

代入法による解き方 ▶ p.40

$$\begin{cases} y=2x & \text{①} \\ 3x-2y=-2 & \text{②} \end{cases}$$

①を②に代入すると、
 $3x-2 \times 2x=-2$
 $x=2$

②を①に代入すると、
 $y=2 \times 2=4$

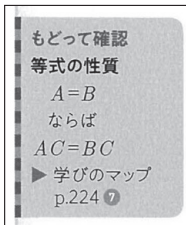
方程式を組にしたものを連立方程式という。

▲p.63など

つまづきへの対応

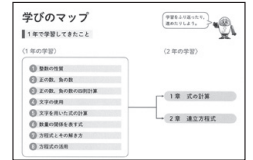
『もどって確認』
『学びのマップ』

●既習事項で定着が悪い内容については、本文中の『もどって確認』でふり返ることができます。



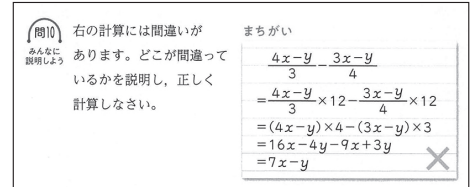
▲p.50など

●巻末に、前学年までの内容を一覧にまとめて『学びのマップ』を設け、適宜、ふり返ることができます。



▶p.220

●多く見られる誤答については、誤答例を示して、どこが間違っているのかを考えさせる問題を設けています。



▲p.23など

豊富な問題量

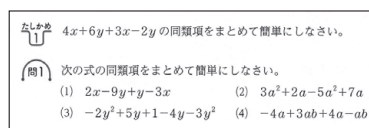
『たしかめ』

『問』

『基本の問題』

『補充問題』

●『たしかめ』『問』『基本の問題』で、多数の問題に取り組むことにより、基礎・基本の確実な習得を図ることができます。

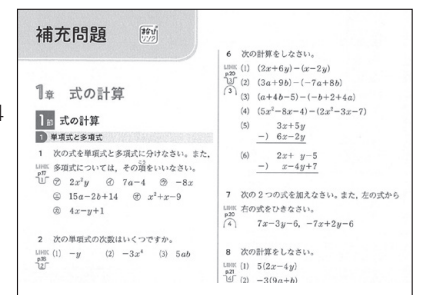
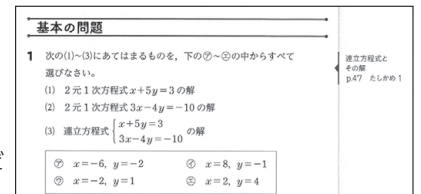


▲p.19など

▶p.56など

●巻末の『補充問題』に取り組むことで、さらに習熟を図ることができます。

▶p.244

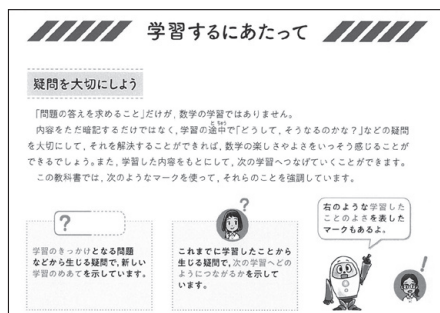


◆思考力・判断力・表現力等の育成

学習の進め方

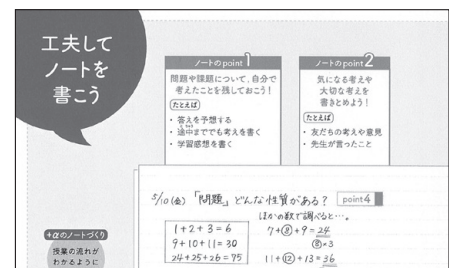
『学習するにあたって』
『工夫してノートを書こう』

●巻頭では、疑問を大切にしながら主体的・対話的に学びを深めていく学習の進め方を示しています。



▲p.6

●ノートの書き方は、思考力や表現力を高めるうえで欠かせないツールです。ノートの書き方を例示し、自分なりの工夫のしかたについて示唆しています。



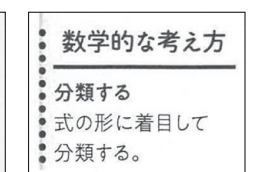
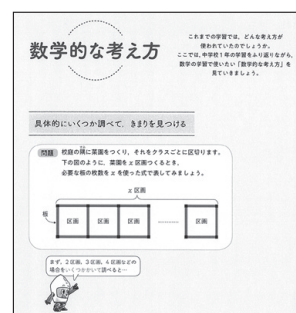
▲p.40

数学的な見方・

考え方の育成

『数学的な考え方』

●数学の学習で使いたい「数学的な考え方」を、巻頭で具体的な事例をもとに紹介しています。また、本文中でも、典型的な箇所を中心に、具体的な説明を加えながら意識づけできるように取り上げています。



▲p.16など

▶p.8

スムーズに本文の
学習へ
『Let's Try』

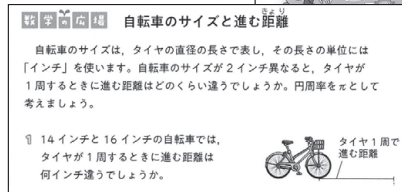
●章の導入課題『Let's Try』では、**日常の事象の考察から数学的活動を始め**、生徒の疑問を引き出し、学習のめあてを明確にして数学的な課題につなげていきます。



▲p.182など

統合的・発展的な活動
『数学の広場』

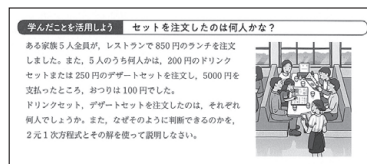
●『数学の広場』では、生徒の興味・関心に応じて、**学習を深めたり広げたりする話題**を扱っています。



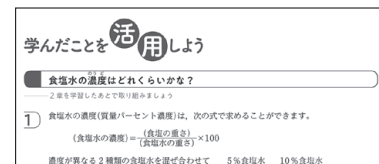
◀p.35など

知識・技能の活用
『学んだことを活用しよう』

●章末及び巻末に『学んだことを活用しよう』を設け、**基礎的・基本的な知識・技能を活用する問題**を扱っています。



◀p.65など

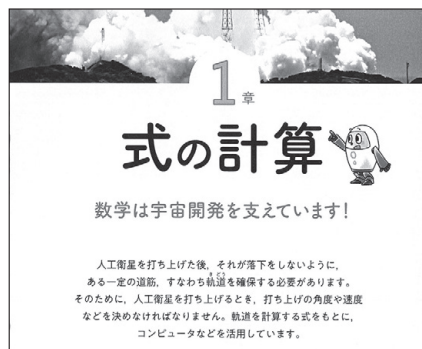


◀p.240

◆**学びに向かう力、人間性等の涵養**

学習の必要性を実感
『章のとびら』
『数学の広場』
『数学メモ』

●『章のとびら』では、**社会や生活、先端テクノロジーなどに関する話題**を扱っています。**章の学習の必要性や数学の有用性**が感じられる話題を通して、**学びに向かうきっかけ**をつくります。



▲p.13など

●『数学の広場』『数学メモ』では、生徒が**興味・関心**を抱く課題や数学に関連する知識、**数学の歴史的・文化的な話題**などを掲載しています。また、巻末の『数学の広場』では、**職業における数学の活用**について取り上げ、**社会性が培われるように**しています。



▲p.238など

◆**学年間の接続**

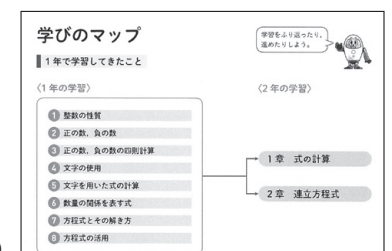
前学年までの内容を
確認できる
『○章を学習する前に』
『もどって確認』
『学びのマップ』

●**学年間の滑らかな接続**に配慮し、『○章を学習する前に』や『もどって確認』などで、**適宜、既習内容をふり返ることが**できるようにしています。

▶p.12, p.50など

●巻末の『**学びのマップ**』では、**前学年までに学習した主な内容を、領域ごとに分けて一覧**にして掲載しています。そこでは、**本学年の内容との系統性**についても示しています。

▶p.220



その他の特色

◆学びのユニバーサルデザインの実現と環境への配慮

カラーユニバーサルデザインや特別支援教育への対応

●色覚等の特性をふまえた判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。また、側注を設けて補足的な内容を扱ったり、文節で改行したりして、視覚的にも読みやすくわかりやすい紙面に配慮しています。

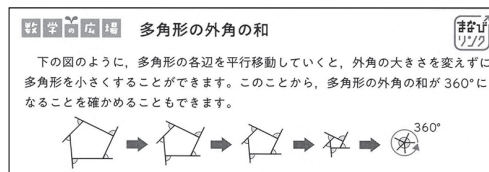
環境への配慮

●教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

◆コンピュータなどの活用

効果的な学習への配慮

●**まがび**をつけたところでは、デジタルコンテンツを活用して、効果的に学習ができるようにしています。



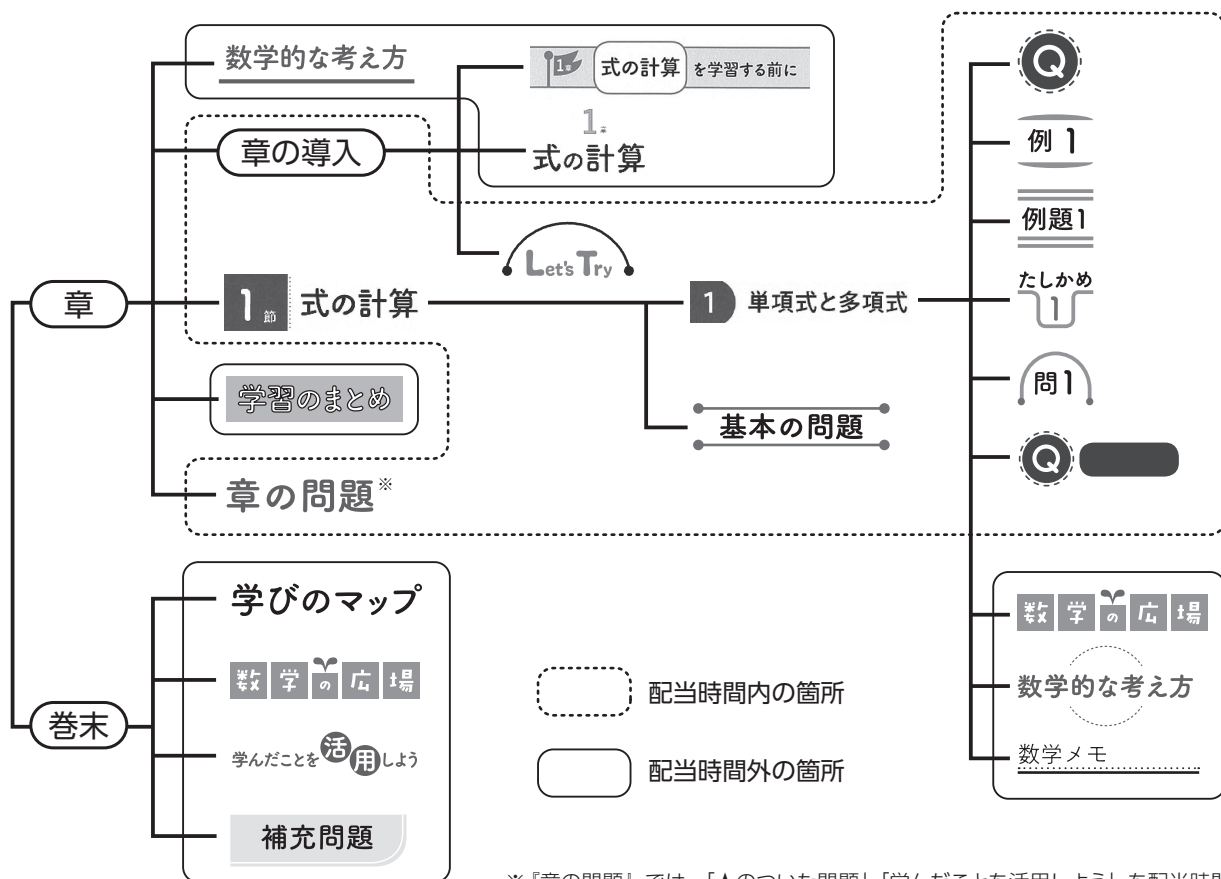
▲p.117など

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時間
1章 式の計算			【15】
Let's Try	A(1)	p.14～p.15	9
1 式の計算	A(1)ア(ア) A(1)イ(ア)	p.16～p.29	
2 式の活用	A(1)ア(イ) A(1)ア(ウ) A(1)ア(エ) A(1)イ(イ)	p.30～p.36	5
学習のまとめ	A(1)	p.37	
章の問題	A(1)	p.38～p.39	1
2章 連立方程式			【14】
Let's Try	A(2)	p.44～p.45	9
1 連立方程式とその解き方	A(2)ア(ア) A(2)ア(イ) A(2)ア(ウ) A(2)イ(ア)	p.46～p.56	
2 連立方程式の活用	A(2)イ(イ)	p.57～p.62	4
学習のまとめ	A(2)	p.63	
章の問題	A(2)	p.64～p.65	1
3章 1次関数			【17】
Let's Try	C(1)	p.68～p.69	9
1 1次関数	C(1)ア(ア) C(1)ア(イ) C(1)イ(ア)	p.70～p.85	
2 1次関数と方程式	C(1)ア(ウ) C(1)イ(ア)	p.86～p.91	3
3 1次関数の活用	C(1)イ(イ)	p.92～p.96	4
学習のまとめ	C(1)	p.97	
章の問題	C(1)	p.98～p.99	1
4章 平行と合同			【19】
Let's Try	B(1) B(2)	p.102～p.103	10
1 平行線と角	B(1)ア(ア) B(1)ア(イ) B(1)イ(ア)	p.104～p.120	
2 合同と証明	B(2)ア(ア) B(2)ア(イ) B(2)イ(ア)	p.121～p.135	8
学習のまとめ	B(1) B(2)	p.136	
章の問題	B(1) B(2)	p.137～p.138	1
5章 三角形と四角形			【20】
Let's Try	B(2)	p.142～p.143	9
1 三角形	B(2)イ(ア)	p.144～p.157	
2 四角形	B(2)イ(ア)	p.158～p.169	8
3 三角形と四角形の活用	B(2)イ(イ)	p.170～p.173	2
学習のまとめ	B(2)	p.174	
章の問題	B(2)	p.175～p.176	1

6章 確率 Let's Try 1 確率 学習のまとめ 章の問題	D(2) D(2)ア(ア) D(2)ア(イ) D(2)イ(ア) D(2)イ(イ) D(2) D(2)	p.182～p.183 p.184～p.195 p.196 p.197～p.198	[8] 7 1
7章 データの分析 Let's Try 1 データの散らばり 2 データの活用 学習のまとめ 章の問題	D(1) D(1)ア(ア) D(1)ア(イ) D(1)イ(ア) D(1)イ(ア) D(1) D(1)	p.202～p.203 p.204～p.213 p.214～p.216 p.217 p.218	[7] 5 1.5 0.5
学びのマップ 数学の広場 学んだことを活用しよう 補充問題 解答 さくいん グラフ用紙 くじ引きカード エッシャーに挑戦 図形のまとめ	 C(1)イ(ア) D(2)イ(ア) B(1)イ(ア) B(1) B(2)	p.220～p.231 p.232～p.239 p.240～p.243 p.244～p.257 p.258～p.266 p.267 巻末折込 // // //	 合 計 100

配当時数に関して



※『章の問題』では、「★のついた問題」「学んだことを活用しよう」を配当時間外で掲載

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-46	中学校	数学科	数学	第2学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	数学 804	中学数学 2		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
27	学習のつながり	1	<p>第1学年A(2)ア(ウ) 簡単な一次式の加法と減法の計算をすること。</p> <p>第2学年A(1)ア(ア) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。</p> <p>第3学年A(2)ア(ア) 単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすること。</p> <p>上記に関連して、文字を使った式の計算に関する各学年で扱う内容を知ることを通して、文字を使った式の計算についてより深く理解する。</p>	0.5
62	文字が3つあるときはどうすればよいのかな？	2	<p>A(2)ア(ア) 二元一次方程式とその解の意味を理解すること。</p> <p>A(2)ア(イ) 連立二元一次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解すること。</p> <p>A(2)イ(ア) 一元一次方程式と関連付けて、連立二元一次方程式を解く方法を考察し表現すること。</p> <p>上記に関連して、連立三元一次方程式の解き方を考えることを通して、文字を消去するという連立方程式の解き方についてより深く理解する。</p>	0.5
178～179	立体の切り口	2	<p>B(2)イ(ア) 三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすること。</p> <p>上記に関連して、立方体を切断したときにできる断面の図形を考えることを通して、論理的に考察し表現する能力を養う。</p>	2
199	期待値	1	<p>D(2)ア(ア) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性と意味を理解すること。</p> <p>D(2)ア(イ) 簡単な場合について確率を求めること。</p> <p>D(2)イ(イ) 確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現すること。</p> <p>上記に関連して、期待値を考えることを通して、確率の考えのよさについてより理解を深める。</p>	1
合 計				4

(「類型」欄の分類について)

- …学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- …学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容